

○現行トップページのコンセプト

PC版サイト

- 目的のページを探しやすく (12分類)
- 新鮮で重要な情報をピックアップ (トピックス、重要なお知らせなど)
- 重点施策のPR (危機管理、特別区制度など)

クリック
操作

スマホ版サイト

- 屋外でも見られると考えられる情報を厳選 (防災やイベント情報など)
- メニューは画面横幅いっぱいには伸ばし、また行間を広くとり、タッチ操作に配慮

タッチ
操作

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・少ないクリック数で目的のページへたどり着ける (PC) ・様々なジャンルの新鮮な情報が多く掲載できる (PC、スマホ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報量が多く、慣れないと探しづらい (PC) ・表示されないメニューがあり、探しづらい (スマホ)

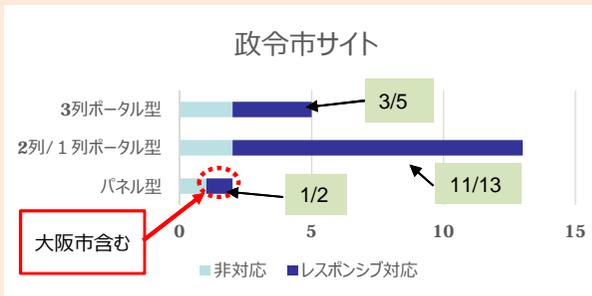
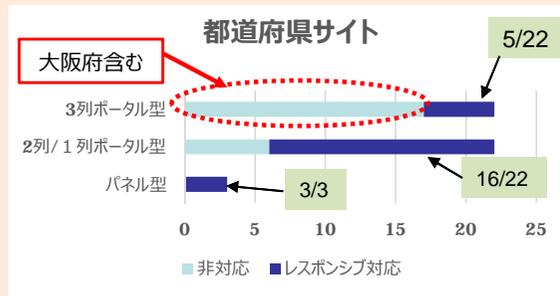
【所属ページではレスポンス非対応のものが多く、文字の間隔が小さく読みづらい (スマホ)】

○都道府県、政令市のトップページの状況

分析

都道府県では3列ポータル型がまだまだ多い。しかし、レスポンス対応技術の浸透等によりデザイン傾向に変化あり

2列/1列ポータル型、パネル型
特大画像の配置、検索重視など



【パネル型】東京都、岡山県、大阪市

- : 広く知ってもらいたい情報をテーマ別にわかりやすく発信できる
- △: 情報量が極端に減少する (庁内調整の必要)

【2列/1列ポータル型】長野県、神戸市

- : 情報量を抑えつつ、大きいメニュー枠を確保できる。パネル型ほどメニューを厳選する必要がなく、自由度も高い。
- △: やや中途半端 (検索窓+注目ワードや、目的別メニューを設置するアレンジあり)

○大阪市のようなパネル型を導入する場合の対応案

	概要	初期/ランニング費用	開発期間	メリット	デメリット
松案	梅+コンテンツ管理システム (CMS) 再構築 ※サーバ機器の調達要	~約7,000万円 (総合評価) / 約4,000万円/年+現行ランニング費 ※サーバ機器+回線使用料+運用保守	3か月 + 9か月	早期に暫定対応を行いつつ、抜本的な対応を進めることができる	新システム用のサーバ機器の調達 (リース) が必要であり、機器の2重払いが発生 (現行サブシステム運用継続のため)
竹案	梅+CMS改修 (所属ページのレスポンス対応)	~約2,500万円 (特命随契) /ランニング費は現行どおり	3か月 + 3か月	・所属ページも含めてレスポンス対応ができる ・追加のサーバ機器調達が不要	・既存CMSの改修のため、最新パッケージ製品には劣る ・CMS再構築を見据えると2重投資
梅案	トップページのデザイン修正及びレスポンス対応	~約900万円 (特命随契) /ランニング費は現行どおり	3か月	予算確保次第、早期に対応できる	各所属が作成するページがレスポンス非対応で残る

○経緯と検討していた再構築の計画

